

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成27年7月9日(2015.7.9)

【公開番号】特開2013-257400(P2013-257400A)

【公開日】平成25年12月26日(2013.12.26)

【年通号数】公開・登録公報2013-069

【出願番号】特願2012-132652(P2012-132652)

【国際特許分類】

G 02 F 1/167 (2006.01)

G 02 F 1/17 (2006.01)

【F I】

G 02 F 1/167

G 02 F 1/17

【手続補正書】

【提出日】平成27年5月21日(2015.5.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第一極性に帯電した第一顔料粒子と、前記第一顔料粒子とは帯電特性が異なる第二顔料粒子と、透明粒子と、が溶媒に分散されている事を特徴とする電気泳動材料。

【請求項2】

前記第二顔料粒子の総表面積と前記透明粒子の総表面積との和に対する前記第二顔料粒子の総表面積の割合が4%以上96%以下である事を特徴とする請求項1に記載の電気泳動材料。

【請求項3】

前記割合が10%以上56%以下である事を特徴とする請求項2に記載の電気泳動材料。

【請求項4】

前記第二顔料粒子は白色である事を特徴とする請求項1乃至3のいずれか一項に記載の電気泳動材料。

【請求項5】

前記第一顔料粒子は黒色である事を特徴とする請求項1乃至4のいずれか一項に記載の電気泳動材料。

【請求項6】

前記透明粒子の粒径は50nm以上1μm以下の範囲にある事を特徴とする請求項1乃至5のいずれか一項に記載の電気泳動材料。

【請求項7】

前記透明粒子の密度は2.5g/cm³以下である事を特徴とする請求項1乃至6のいずれか一項に記載の電気泳動材料。

【請求項8】

前記透明粒子は樹脂である事を特徴とする請求項1乃至7のいずれか一項に記載の電気泳動材料。

【請求項9】

前記第一顔料粒子の電気泳動移動度は、前記第二顔料粒子の電気泳動移動度よりも大き

く、前記透明粒子の電気泳動移動度よりも大きい事を特徴とする請求項 1 乃至 8 のいずれか一項に記載の電気泳動材料。

【請求項 1 0】

前記第二顔料粒子は前記第一極性とは異なる極性に帯電している事を特徴とする請求項 1 乃至 9 のいずれか一項に記載の電気泳動材料。

【請求項 1 1】

前記第二顔料粒子の電気泳動移動度は、前記透明粒子の電気泳動移動度よりも大きい事を特徴とする請求項 1 0 に記載の電気泳動材料。

【請求項 1 2】

前記第二顔料粒子は電気的に中性である事を特徴とする請求項 1 乃至 9 のいずれか一項に記載の電気泳動材料。

【請求項 1 3】

前記透明粒子は電気的に中性である事を特徴とする請求項 1 乃至 1 2 のいずれか一項に記載の電気泳動材料。

【請求項 1 4】

前記透明粒子は前記第一極性とは異なる極性に帯電している事を特徴とする請求項 1 乃至 1 2 のいずれか一項に記載の電気泳動材料。

【請求項 1 5】

請求項 1 乃至 1 4 のいずれか一項に記載の電気泳動材料を備えた事を特徴とする電気泳動表示装置。

【請求項 1 6】

請求項 1 5 に記載の電気泳動表示装置を備えた事を特徴とする電子機器。